



「なんにわ」、はじめての4月です。

- ・第1回 通常総会報告
- ・理事のエッセイ & 自己紹介 (西尾、手塚)
- ・ホームページが動き出しました
<http://www.nantonakuno.net/>



第1回 通常総会報告 (5月7日・土)

新しい年度をむかえ、初めての通常総会を今市市民活動支援センターで行い、無事終了したことをご報告いたします。総会は22人の正会員のうち、11人の出席、8人の表決委任をいただき、山田清一さんを議長に選任して審議を行いました。理事会提出の案件はすべて原案どおり承認されました。審議の中で、新年度は宣伝活動およびイベントへの参加活動などをより活発にしてほしい等の意見や要望がありました。不登校で悩んでいる子どもや親に、私たちの活動はまだ届いていないと感じます。どのような形で私たちの活動を知らせていくか、いろんな手だてを考えていかなければなりません。総会議案書に「理事長あいさつ」として以下のような一文を載せました。

『すべての子どもたちは学ぶ権利をもち、学校は子どもたちの学びを保証する場です。けれど、さまざまな理由で不登校となった子どもたちにとって、「学校に行かねばならない」という圧力は、大きな負担となります。外面的な、不登校という現象のみにこだわることは、その子どもの存在そのものを否定することにつながりかねません。学校へ行くことを強制されることなく、

ゆっくり過ごすことができる場所で自分を見つめ直し、ふたたび学校への一步を踏み出す子どももいるはずです。一方で、「学校へ行かない」という道を選んだ子どもたちには、従来の学校とは異なる、新たな学びのプログラムを、そして将来の職業を見据えた進路選択を共に考えていかなければなりません。多様な生き方を保証するためにも、子どもと大人が協同する、この新しい学びの場の存在は、ぜひとも必要なことと考えます。(中略)「不登校」は単なる子どもの「わがまま」ではなく、現代の社会のあり方、学校のあり方に対する疑問の提示です。その疑問をどう受け止めるか、私たち大人が問われているのではないのでしょうか。

私たちは、このような考えで昨年の6月から「子どもの居場所」を運営してきました。今年度、今市市から本会への補助金が議会で認められ、4月から週2回、活動を継続しています。学校をはじめとする教育機関や行政機関との連携もしっかりやっけていかなばと思います。会員のみならず皆様のご協力、ご支援を、これからもよろしくお願いいたします。(手塚)

お知らせ:理事が参加したセミナー等の「報告会」を行います。参加自由です。お気軽においで下さい。

6月4日(土) 午後7時半から9時まで 今市市民活動支援センター・第2会議室

目次:

第1回通常総会報告	1
シリーズ「はじめまして」	2
法人設立記念講演会報告 活動報告	3
活動目的・入会のお祝い	4

なんとなくのかんばん・その2

報徳今市振興会館で開かれる「子どもの居場所」の看板、「建物の入り口だけでなく、門のあたりに立てると入りやすいのでは」との意見で、隅さんに作成を依頼しています。できあがりを楽しみ、次回には写真入りで報告できるはず。 (写真は報徳会館の看板)



2 なんとなくのひろば

副理事長を務めています、西尾敬子です。
今市に家族で越してきて14年になります。家族は会社勤めの夫が一人、短大生の長女、中学2年の長男の4人家族です。今まで、今市で関わってきたことを書いてみます。

- ・ 自主保育の会 おひさまはらっぱ
- ・ 生活クラブ生協栃木 今市地区
- ・ 女性団体連絡協議会
- ・ NPO法人 咲らん坊

気がついてみると市民活動をしていたと言う事になりますが、活動を始めるきっかけはいつも自分にとって必要だからとか、こんなのがあったらいいなというような自分勝手な発想からです。でも、それを人に話し、伝えていくうちに共感を得ていくといつのまにか市民活動になっているのですから不思議です。

なんとなくののわに関わったのも、3年前に親子で新宿のフリースクールに通った経験から、こんな楽しい所が地元にもあったらいいのに、という思いがスタートです。今はまだ、なんとなくののわは、数人が出入りする静かな場所ですが、年度を重ねていくうちに子どもたちの笑いが絶えないにぎやかなところになれたらいいなと思っています。不登校って、自分の家にやってくるとけっこうきついものがあるので、一人で考えるのではなく、いっしょに子どもたちのことを考えていきましょう。

はじめまして：その1 西尾敬子 理事



はじめまして：その2 手塚郁夫 理事



NPOというのは会社と同じ「法人」なので、年度の間にこなさなければならぬ事業があり、行事があり、届け出などがあります。「そんなことははじめからわかっているはず」と言われそうですが、これが実際にやってみると思ったよりたくさんの仕事があることにびっくり

り。とくに税金のことなどまったくわからないまま税務署に行って、何を聞いてきたのかわからずに帰ってきたり、困ったものです。昨年まで「おおきな木」の理事をやってきましたのですが、こまごました仕事は事務局任せでした。そういうわけで「おおきな木」には今でも運営面でバックアップいただき、お世話になっています。

プロフィールを書けということです。少しだけ。ふたりの息子は成人しました。でも、まだ学生です。かみさんは学童保育で頑張っています。昭和2年生まれ之母がいちばん元気かな。ということで5人家族。30年勤務した学校現場を離れて、新しい自分のペースを作り出すまで、もう少し時間がかかりそうです。「なんにわ」で、いままでとはちがう「学び」をいっしょに考え、作り出していきたいと思います。これからもよろしく。

「なんとなくののわ」は4ページにあるように、6つの事業を行うNPOです。

(1)の居場所運営は、理事全員がスタッフとして担当します。

それ以外の事業は以下のようにおおまかに分担しています。

これ以外にも、ホームページ作成や報徳会館の庭の手入れなど、いくつかの仕事が会員などによって立ち上がりました。興味のある方はぜひ運営にご参加下さい。

河又 尚志	青少年の自立・就労支援
白井 佐智子	学習内容、インターネット
手塚 郁夫	学習内容、インターネット、自然環境、(会報)
西尾 敬子	学習内容、(会計事務)
沼尾 理奈子	相談・情報提供、青少年の自立・就労支援
村上 幸子	相談・情報提供、青少年の自立・就労支援
吉成 啓子	相談・情報提供、青少年の自立・就労支援
中島 守(監事)	自然環境

法人設立記念講演会

「ひよこの家」ものがたり

3月27日、中野謙作さん(とちぎ教育ネット・高根沢町教育委員)を講師にお願いして、今市市民活動センターで午後1時半から行いました。

「ひよこの家」は高根沢町教育委員会学校教育課が運営するフリースペース。この「不登校生の居場所」が作られたいきさつと、現状、今後の展望について、スライドを使って、わかりやすく話されました。私たちの宣伝不足と、年度末ということもあり、少ない参加者でしたが、「聞いてくれてる人の熱い視線が印象的でした」という中野さんからの感想をいただきました。

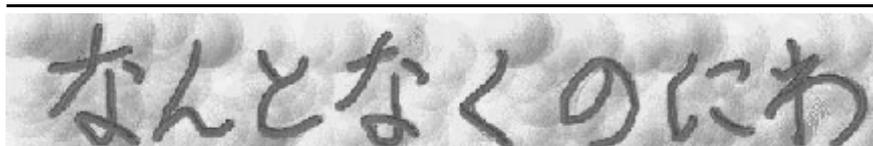
(右図は講演のスライドより)

みんなの居場所

～もう一つの学校～



高根沢町フリースペース
ひよこの家



インターネットプロジェクト進行中!

沼尾くんを中心に、若い感覚でホームページ作りが進んでいます。

<http://www.nantonakuno.net/> をご覧下さい。

山田さん、これからも写真をよろしく。



3月18日、そば打ち大会の合間にゲームの図

活動報告

- 2月12日(土) 「子どものシェルター説明会」 午後1時半 消防庁舎(手塚)
- 2月19日(日) ゆずりは 軽度発達障がいセミナー 2004 第3回 教育現場にできること 参加(手塚)
- 3月5日(土) 「子どものシェルター説明会」午後1時半 消防庁舎(手塚)
- 3月6日(日) 講演会「ヤンキー母校に生きる」講師 義家弘介さん に参加(沼尾、白井)
- 3月18日(金) 「なんにわ」で「そば打ち会」
- 3月19日(土) 講演会「不登校は僕の最高の青春」講師 金藤晃一さん に参加(白井、沼尾)
- 3月26日(土) ゆずりはセミナー 軽度発達障がいセミナー 2004 参加(西尾、白井、林)
- 3月27日(日) 法人設立記念講演会 「ひよこの家ものがたり」
講師 中野謙作さん(栃木教育ネット・高根沢町教育委員)
- 4月1日(金) 子どもの居場所・なんとなくのにな(週2回として開始)
- 4月13日(水) 映画「ハードル」試写会参加(西尾)
- 4月17日(日) 第14回・おひさまセミナー参加(白井)
- 4月23日(土) 「子どもの居場所」見学会(午後1時半から4時)
- 5月5日(木) 映画「石井のおとうさんありがとう」参加(吉成)
- 5月7日(土) 第3回 理事会・第1回 通常総会(今市市民活動支援センター)
- 5月8日(日) 講演会「ひきこもり・ニートの自立」就労支援の現場から 参加(村上、吉成)
- 5月15日(日) 「わんぱくフェア」参加・出店

子どもたちが集まり、ゆったりと過ごすことのできる
フリースペース・「子どもの居場所」を始めました。
子どもの自主性を大切にしながら、地域に根ざした
新しい学びの場を作りだしていきます。

子どもの居場所 **なんとなくのになわ** 不登校相談 ★

場所:報徳今市振興会館
(今市市民活動支援センター隣)

毎週 火・金曜日(午前10時~午後4時)
祝日は休み

費用:3,000円/月

(はじめの1ヶ月は無料。登校は持参または実費でお願します)

見学自由です。ホームページもご覧下さい。

<http://www.nantonakuno.net/>

連絡先:0288-21-2631(手塚)

0288-22-0990(西尾)

メール: info@nantonakuno.net

掲載日は0288-21-3517(報徳今市振興会館)にご連絡下さい。

子どもたちのアイデアを大切に、
相談しながらやっていきます。

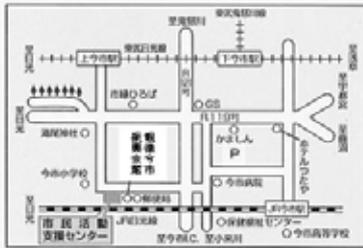
子どものこと、親の悩みなど、お茶でも
飲みながら話ませんか。

ちょっとあそびにおいでよ!

いつきても、いつかえってもいいんだよ

集まった人どうしておしゃべり、
ゲームなど、
もちろん、ひとりで読書もOK
好きな活動をして過ごせます

自分にあつたやり方で学びたい
楽しいことを見つけたい
やりたいことを応援します



運営: 特定非営利活動法人 なんとなくのになわ (代表 手塚郁夫)

私たちの活動にご協力ください。

年会費 一口

正会員 3,000円、賛助会員 5,000円

入会金はありません。

私たちの活動目的:

今市市およびその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して学習や自立の支援活動を行い、地域の人々が支える新たな学びの場を作り出すことを目的とします。

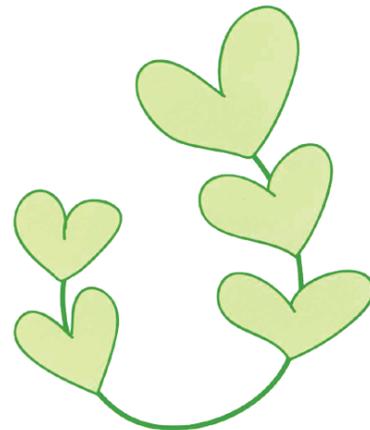
私たちの事業:

子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
子どもたち一人ひとりに対応した、
新たなカリキュラムや学習内容の開発
インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援

教育についての相談や情報提供活動
学校外で育つ青少年の自立に関する相談
および就労を支援する活動

自然環境の中での学びを作り出し、子どもたちに自然環境保全の大切さを啓発する活動

「なんにわ」のロゴができました



自分の居場所を見つけた子どもと、子どもたちを支える親や家族、地域の人たちをイメージしてデザインしました。ハート型の葉をつなぐ茎は細

すぎず、太すぎず、子どもを束縛せず、いつか自立して旅立つ日まで守り抜く茎の太さです。いつ戻ってきても暖かく迎え入れる柔軟性を象徴して、ゆるやかなカーブで手書き風に全体をまとめてみました。

デザイン: 福田知美さん

なんとなくのへや

「世界物理年」という言葉をどこかでお聞きになったことがあるでしょうか。アインシュタインが物理学の3つの分野で革命的な論文を発表し、大きな影響を与えた「奇跡の年」1905年。それから100年を経たことを記念して、2005年の今年が「物理年」となりました。20世紀の物理学は技術の進歩を促し、世界を大きく変えてしまいました。科学と技術の歴史をふり返り、人間との関わりをあらためて考え直すイベントも数多く企画されています。アインシュタインが生きていたら、この「便利」な世の中をどう見るのか、報徳会館の古い建物の中で、そんなことを考えてみるのも面白いと思います。(T)

写真: 報徳今市振興会館の桜のトンネル(山田清一さん撮影)

